

新校舎に関する Q&A

Q1：新校舎はどこにできますか？



新校舎外観イメージ

A:現在の東海大学札幌キャンパス内にできます。現校舎から徒歩5分ほどの所です。大学がある南の沢は日本におけるラベンダー発祥の地です。大学キャンパス内にあるラベンダー畑に隣接する形で新校舎が建ちます。ラベンダー薫る新校舎は、私たちの誇りです。

また、大学とはブリッジでつながるため、大学と高校の行き来がとても便利になります。大学の先生や学生と一緒に学ぶ機会も増え、これまでにない、豊かな教育の連携が展開される予定です。

Q2:土足で校舎に入れると聞きましたが、本当ですか？

A:本当です。生徒は、土足で校舎に入り、教室の前のロッカーで上靴に履き替え、上靴で一日を過ごします。

大学関係者や外部の方は土足のまま入れるので、地域や大学とのスムーズな連携が一層図れることとなります。

Q3：コミュニティーウイングとスタディーウイングとは、どのようなものですか？

A:コミュニティーウイングは、学習と出会い（交流）の場所です。その中には、食堂・エントランスホールがあり、ランチはもとよりスイーツ、ソフトクリーム、カフェなどのデザートも充実、生徒が自由に集い、憩うことのできる大きな空間です。もちろん自学自習をすることも可能です。さらに講堂や冷暖房完備のメディアセンター（図書館）・音楽室・デジタルアトリエなどもあり、地域や大学との連携の場ともなります。



メディアセンターイメージ



食堂等イメージ

スタディーウイングは教室棟です。普通教室は全室南向き、各教室に個人ロッカー完備で、2018年度には電子黒板やプロジェクターが設置されICT教育に対応する予定です。北側には特別教室が並びます。3年生の2階には自習室も完備し、学びたい人がいつでも学べる環境となっています。スタディーウイングの廊下はとても広く（最大で7m）、学年ラウンジと呼ばれる生徒の居場所がいたる所に作られています。また、職員室前にはミーティングラウンジが作られ、壁側面にホワイトボードを設置、テーブルと椅子を置き、いつでも生徒が質問や学びに来られるような環境を整えました。

